

R5年度災害時調査票 集計結果

R6年3月 村山保健所

●調査対象施設および回収率

	対象施設	回収率
学校 (小学校・幼稚園等)	42	100%
病院	18	
高齢者福祉施設 (特別養護老人ホーム・介護老健保健施設 ・有料老人ホーム等)	67	
こども園・保育園	82	
社会福祉施設	10	
事業所	21	
その他	7	
計	247	

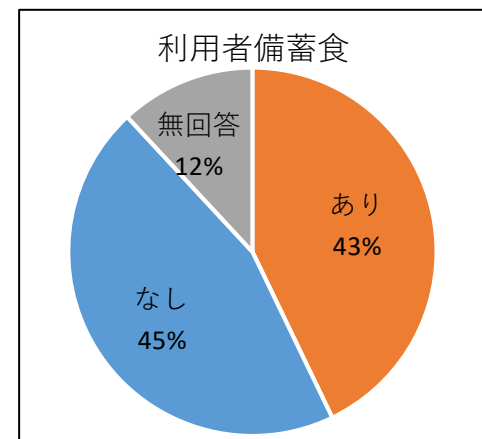
●回収方法の結果

	施設数	
郵送	86	35%
やまがたe申請 (インターネット)	161	65%

●備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数 (n=42)		平均提供 準備回数
利用者備蓄食	あり	18	43%	1.2回
	なし	19	45%	
	無回答	5	12%	
職員備蓄食	あり	17	41%	1.2回
	なし	19	45%	
	無回答	6	14%	

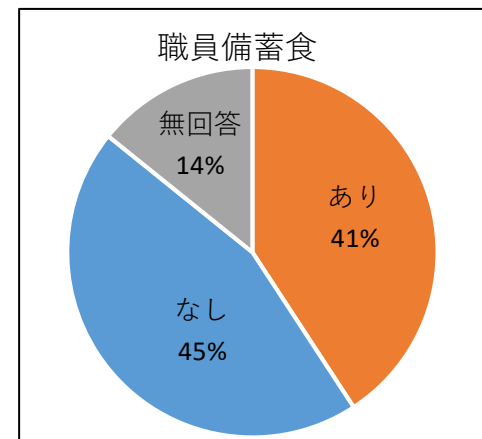
※その他に準備している対象者：地域住民



●食事に配慮が必要な対象がいる施設における備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数		平均提供 準備回数
食物アレルギーがある者の 備蓄食 (n=29)	あり	13	45%	1.0回
	なし	16	55%	
摂食嚥下困難者の備蓄食 (n=2)	あり	1	50%	1.0回
	なし	1	50%	

※平均提供準備回数：R5年11月現在の対象者に対する提供可能回数



●備蓄している食品・物品（敷地内）（複数回答）

食品・物品名	施設数(n=42)	
水	14	33%
水以外の飲料	0	0%
精白米	2	5%
アルファ化米	16	38%
レトルトおかゆ	1	2%
パン	9	21%
おかずとなる缶詰やレトルト	9	21%
スープ・みそ汁の素やレトルト	1	2%
乾パン	3	7%
ビスケット・クッキー	12	29%

食品・物品名	施設数(n=42)	
離乳食	0	0%
嚥下困難者用食品	1	2%
粉ミルク	0	0%
液体ミルク	0	0%
食物アレルギー対応食品	3	7%
デイスポ食器	3	7%
緊急用熱源	1	2%
割りばし・使い捨てスプーン等	5	12%

●敷地外の備蓄状況 公益社団法人で保管、市町村で保管等

●利用者備蓄食（敷地内）がある施設における献立の作成状況

	施設数(n=18)	
献立を作成している	1	6%
献立を作成していない	17	94%

●災害時の協定等の状況（複数回答）

直営給食の施設

	施設数(n=18)	
協定・契約を結んでいる	0	0%
口頭で取り決めがある	0	0%
同法人等の系列施設で支援し合う予定	0	0%
検討中	0	0%
取り決め等はない	16	89%
無回答	2	11%

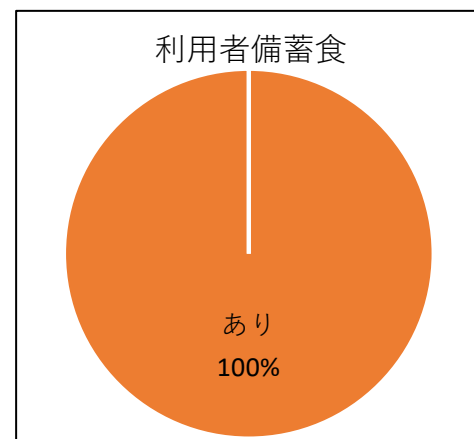
委託給食の施設

	施設数(n=24)	
契約を結んでいる	1	4%
契約は結んでいないが、口頭で取り決めがある。	1	4%
検討中	0	0%
取り決め等はない	19	79%
無回答	3	13%

●備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数 (n=18)		平均提供 準備回数
利用者備蓄食	あり	18	100%	9.0回
	なし	0	0%	
職員備蓄食	あり	8	44%	6.1回
	なし	9	50%	
	無回答	1	6%	

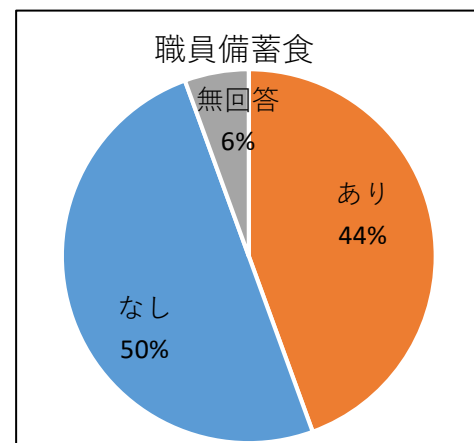
※その他に準備している対象者：帰宅困難な外来診療利用者



●食事に配慮が必要な対象がいる施設における備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数		平均提供 準備回数
食物アレルギーがある者の 備蓄食 (n=11)	あり	9	82%	10.3回
	なし	2	18%	
摂食嚥下困難者の備蓄食 (n=15)	あり	13	87%	9.0回
	なし	2	13%	
経管栄養の備蓄食 (n=13)	あり	13	100%	12.0回
	なし	0	0%	

※平均提供準備回数：R5年11月現在の対象者に対する提供可能回数



●備蓄している食品・物品（敷地内）（複数回答）

食品・物品名	施設数(n=18)	
水	18	100%
水以外の飲料	14	78%
精白米	11	61%
アルファ化米	8	44%
レトルトおかゆ	16	89%
パン	3	17%
おかずとなる缶詰やレトルト	16	89%
スープ・みそ汁の素やレトルト	9	50%
乾パン	0	0%
ビスケット・クッキー	1	6%

食品・物品名	施設数(n=18)	
離乳食	1	6%
嚥下困難者用食品	12	67%
粉ミルク	2	11%
液体ミルク	1	6%
食物アレルギー対応食品	2	11%
デイスポ食器	16	89%
緊急用熱源	9	50%
割りばし・使い捨てスプーン等	18	100%
その他	経腸栄養剤、とろみ剤、栄養補助食品等	

●敷地外の備蓄状況 無し

●利用者備蓄食（敷地内）がある施設における献立の作成状況

	施設数(n=18)	
献立を作成している	16	89%
献立を作成していない	2	11%

●災害時の協定等の状況（複数回答）

直営給食の施設

	施設数(n=8)	
協定・契約を結んでいる	0	0%
口頭で取り決めがある	2	25%
同法人等の系列施設で支援し合う予定	3	38%
検討中	1	13%
取り決め等はない	2	25%

委託給食の施設

	施設数(n=10)	
契約を結んでいる	6	60%
契約は結んでいないが、口頭で取り決めがある。	1	10%
検討中	1	10%
取り決め等はない	2	20%

高齢者福祉施設

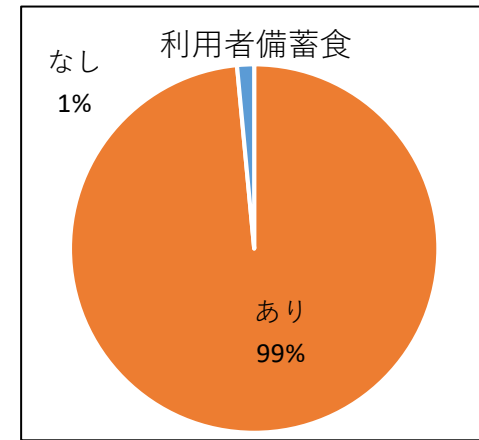
対象施設数 67施設

(特別養護老人ホーム・介護老健保健施設・有料老人ホーム等)

●備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数 (n=67)		平均提供 準備回数
利用者備蓄食	あり	66	99%	7.7回
	なし	1	1%	
職員備蓄食	あり	20	30%	7.5回
	なし	38	57%	
	無回答	9	13%	

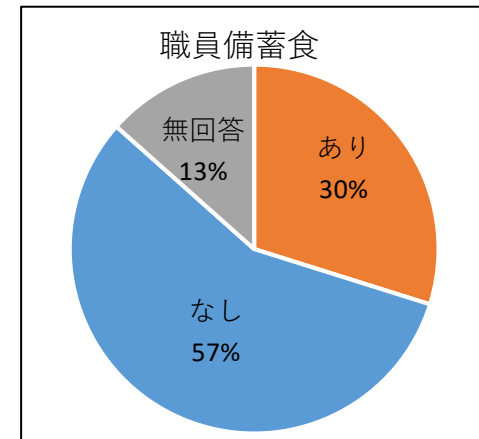
※その他に準備している対象者：地域住民、地域要介護者や家族、短期入所者



●食事に配慮が必要な対象がいる施設における備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数		平均提供 準備回数
食物アレルギーがある者の 備蓄食 (n=20)	あり	19	95%	7.8回
	なし	0	0%	
	無回答	1	5%	
摂食嚥下困難者の備蓄食 (n=56)	あり	54	96%	8.0回
	なし	1	2%	
	無回答	1	2%	
経管栄養の備蓄食 (n=29)	あり	28	97%	11.6回
	なし	1	3%	

※平均提供準備回数：R5年11月現在の対象者に対する提供可能回数



●備蓄している食品・物品（敷地内）（複数回答）

食品・物品名	施設数(n=67)	
水	61	91%
水以外の飲料	32	48%
精白米	43	64%
アルファ化米	21	31%
レトルトおかゆ	40	60%
パン	7	10%
おかずとなる缶詰やレトルト	55	82%
スープ・みそ汁の素やレトルト	31	46%
乾パン	0	0%
ビスケット・クッキー	5	7%

食品・物品名	施設数(n=67)	
離乳食	0	0%
嚥下困難者用食品	39	58%
粉ミルク	0	0%
液体ミルク	0	0%
食物アレルギー対応食品	2	3%
デイスポ食器	65	97%
緊急用熱源	46	69%
割りばし・使い捨てスプーン等	66	99%
その他	経腸栄養剤、とろみ剤、発電機等	

●敷地外の備蓄状況 本社で保管、委託会社の本社で保管等

●利用者備蓄食（敷地内）がある施設における献立の作成状況

	施設数(n=66)	
献立を作成している	53	80%
献立を作成していない	13	20%

●災害時の協定等の状況（複数回答）

直営給食の施設

	施設数(n=21)	
協定・契約を結んでいる	6	29%
口頭で取り決めがある	1	5%
同法人等の系列施設で支援し合う予定	6	29%
検討中	3	14%
取り決め等はない	6	29%

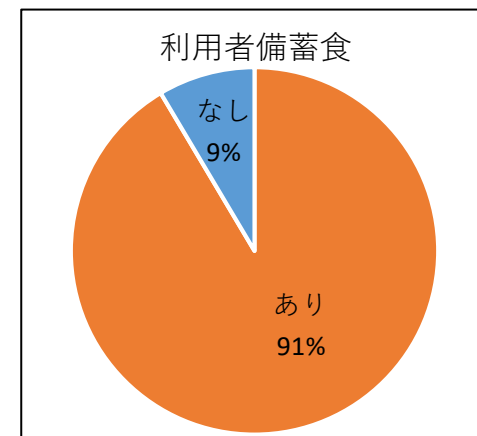
委託給食の施設

	施設数(n=46)	
契約を結んでいる	10	22%
契約は結んでいないが、口頭で取り決めがある。	25	54%
検討中	3	7%
取り決め等はない	8	17%

●備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数 (n=82)		平均提供 準備回数
利用者備蓄食	あり	75	91%	2.8回
	なし	7	9%	
職員備蓄食	あり	67	82%	2.9回
	なし	13	16%	
	無回答	2	2%	

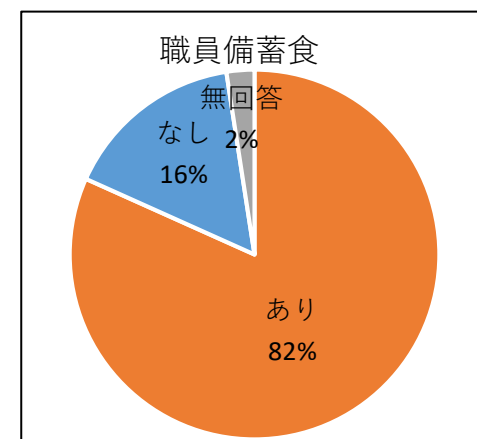
※その他に準備している対象者：地域住民



●食事に配慮が必要な対象がいる施設における備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数		平均提供 準備回数
ミルク対応者の備蓄食 (n=33)	あり	30	91%	9.9回
	なし	2	6%	
	無回答	1	3%	
食物アレルギーがある者の 備蓄食 (n=70)	あり	60	86%	2.6回
	なし	5	7%	
	無回答	5	7%	

※平均提供準備回数：R5年11月現在の対象者に対する提供可能回数



●備蓄している食品・物品（敷地内）（複数回答）

食品・物品名	施設数(n=82)	
水	71	87%
水以外の飲料	22	27%
精白米	47	57%
アルファ化米	50	61%
レトルトおかゆ	24	29%
パン	29	35%
おかずとなる缶詰やレトルト	51	62%
スープ・みそ汁の素やレトルト	17	21%
乾パン	19	23%
ビスケット・クッキー	57	70%

食品・物品名	施設数(n=82)	
離乳食	19	23%
嚥下困難者用食品	2	2%
粉ミルク	39	48%
液体ミルク	7	9%
食物アレルギー対応食品	35	43%
デイスポ食器	53	65%
緊急用熱源	34	41%
割りばし・使い捨てスプーン等	63	77%
その他	調味料、飲用水ポリタンク、使い捨て哺乳瓶等	

●敷地外の備蓄状況 児童センターで保管、本社で保管

●利用者備蓄食（敷地内）がある施設における献立の作成状況

	施設数(n=75)	
献立を作成している	35	47%
献立を作成していない	39	52%
無回答	1	1%

●災害時の協定等の状況（複数回答）

直営給食の施設

	施設数(n=59)	
協定・契約を結んでいる	0	0%
口頭で取り決めがある	2	3%
同法人等の系列施設で支援助し合う予定	7	12%
検討中	5	8%
取り決め等はない	43	73%
無回答	5	8%

委託給食の施設

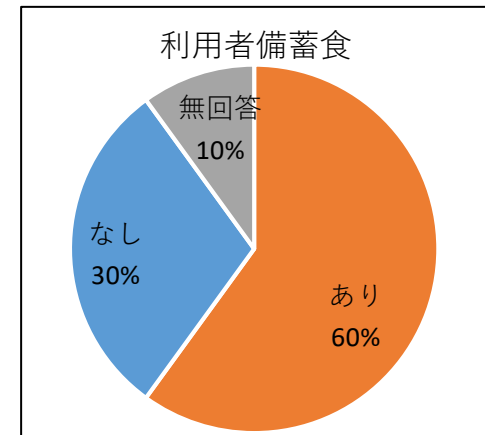
	施設数(n=23)	
契約を結んでいる	5	22%
契約は結んでいないが、口頭で取り決めがある。	4	17%
検討中	6	26%
取り決め等はない	7	30%
未回答	1	4%

社会福祉施設

対象施設数 10施設

●備蓄食の準備状況（敷地内）

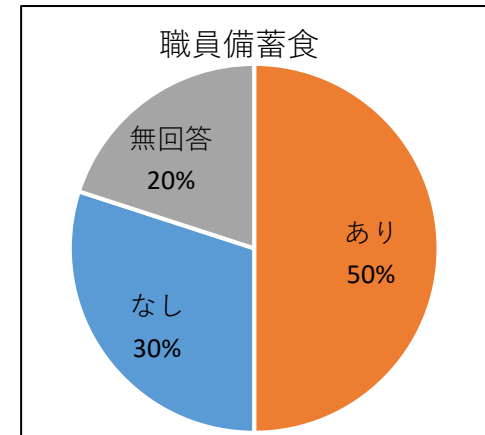
		施設数 (n=10)		平均提供 準備回数
利用者備蓄食	あり	6	60%	8.2回
	なし	3	30%	
	無回答	1	10%	
職員備蓄食	あり	5	50%	8.0回
	なし	3	30%	
	無回答	2	20%	



※その他に準備している対象者：系列施設、地域住民

●食事に配慮が必要な対象がいる施設における備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数		平均提供 準備回数
食物アレルギーがある者の 備蓄食 (n=2)	あり	1	50%	3.0回
	なし	0	0%	
	無回答	1	50%	
摂食嚥下困難者の備蓄食 (n=5)	あり	3	60%	9.3回
	なし	2	40%	



※平均提供準備回数：R5年11月現在の対象者に対する提供可能回数

●備蓄している食品・物品（敷地内）（複数回答）

食品・物品名	施設数(n=10)	
水	7	70%
水以外の飲料	5	50%
精白米	3	30%
アルファ化米	5	50%
レトルトおかゆ	3	30%
パン	2	20%
おかずとなる缶詰やレトルト	5	50%
スープ・みそ汁の素やレトルト	3	30%
乾パン	0	0%
ビスケット・クッキー	1	10%

食品・物品名	施設数(n=10)	
離乳食	0	0%
嚥下困難者用食品	3	30%
粉ミルク	0	0%
液体ミルク	0	0%
食物アレルギー対応食品	0	0%
デイスポ食器	5	50%
緊急用熱源	2	20%
割りばし・使い捨てスプーン等	9	90%
その他	栄養補助ゼリー、カセットコンロ用の鍋等	

●敷地外の備蓄状況 無し

●利用者備蓄食（敷地内）がある施設における献立の作成状況

	施設数(n=6)	
献立を作成している	4	67%
献立を作成していない	2	33%

●災害時の協定等の状況（複数回答）

直営給食の施設

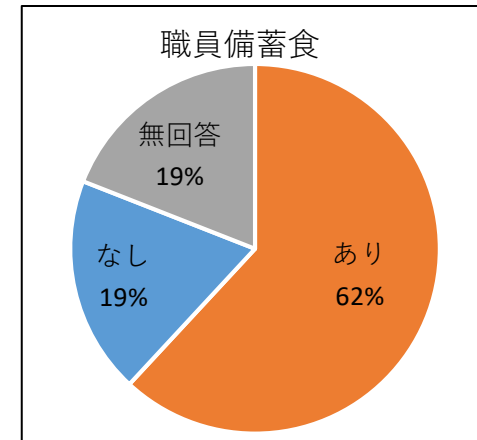
	施設数(n=4)	
協定・契約を結んでいる	0	0%
口頭で取り決めがある	3	75%
同法人等の系列施設で支 し合う予定	1	25%
検討中	0	0%
取り決め等はない	1	25%

委託給食の施設

	施設数(n=6)	
契約を結んでいる	1	17%
契約は結んでいないが、口 頭で取り決めがある。	1	17%
検討中	0	0%
取り決め等はない	3	50%
未回答	1	17%

●備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数 (n=21)		平均提供 準備回数
職員備蓄食	あり	13	62%	4.8回
	なし	4	19%	
	無回答	4	19%	



※その他に準備している対象者：地域住民、来客者

●備蓄している食品・物品（敷地内）（複数回答）

食品・物品名	施設数(n=21)	
水	13	62%
水以外の飲料	2	10%
精白米	2	10%
アルファ化米	4	19%
レトルトおかゆ	1	5%
パン	3	14%
おかずとなる缶詰やレトルト	4	19%
スープ・みそ汁の素やレトルト	0	0%
乾パン	0	0%
ビスケット・クッキー	5	24%

食品・物品名	施設数(n=21)	
離乳食	0	0%
嚥下困難者用食品	0	0%
粉ミルク	0	0%
液体ミルク	0	0%
食物アレルギー対応食品	0	0%
デイスポ食器	3	14%
緊急用熱源	5	24%
割りばし・使い捨てスプーン等	3	14%
その他	施設で製造している商品、 構内売店の商品を災害時に 提供等	

●敷地外の備蓄状況 無し

●利用者備蓄食（敷地内）がある施設における献立の作成状況

	施設数(n=13)	
献立を作成している	0	0%
献立を作成していない	13	100%

●災害時の協定等の状況（複数回答）

直営給食の施設

	施設数(n=8)	
協定・契約を結んでいる	0	0%
口頭で取り決めがある	0	0%
同法人等の系列施設で支援 し合う予定	0	0%
検討中	0	0%
取り決め等はない	7	88%
未回答	1	13%

委託給食の施設

	施設数(n=13)	
契約を結んでいる	1	8%
契約は結んでいないが、口 頭で取り決めがある。	0	0%
検討中	2	15%
取り決め等はない	10	77%
未回答	0	0%

その他の施設

対象施設数 7施設

●備蓄食の準備状況（敷地内）

		施設数 (n=7)		平均提供 準備回数
利用者備蓄食	あり	1	14%	6.0回
	なし	5	71%	
	無回答	1	14%	
職員備蓄食	あり	2	29%	7.5回
	なし	4	57%	
	無回答	1	14%	

R5年度災害時調査票 考察・まとめ

●備蓄食の準備状況（敷地内）

利用者の備蓄食の準備がある施設は、学校43%、病院100%、高齢者福祉施設99%、こども園・保育園91%、社会福祉施設60%であり、施設種類によって準備状況が異なる結果であった。日中の災害時には、通所する利用者が帰宅できない場合が想定されることから、今後も災害への備えを進めていくことが大切であるとする。

職員の備蓄食がある施設は、学校41%、病院44%、高齢者福祉施設30%、こども園・保育園82%、社会福祉施設50%、事業所62%であった。利用者が施設にいる場合は、職員も施設にいることが想定されるため、備蓄食を準備する際は、職員分も併せて検討する必要がある。

●食事に配慮が必要な対象がいる施設における備蓄食の準備状況（敷地内）

食物アレルギーがある者に対する備蓄食は、アレルゲンとなる食品が利用者によって異なることや、毎年利用者が変わることから準備が難しい場合がある。備蓄食の準備の際は、備蓄食のアレルゲン内容を確認したり、ローリングストックの内容を考慮したりすることが大切であるとする。また、利用者が変わる年度の初め等に、食物アレルギーのある利用者に対して災害時どのように食事を提供できるかを施設で確認しておく必要がある。

摂食嚥下困難者や経管栄養の者への備蓄食は比較的整備されていた。今回は調査時点で対象者がいる施設の備蓄状況を調査したため、対象者がいない施設での準備状況は把握していない。今後施設に嚥下食が必要な利用者が入所した場合等、利用者に応じた食事が提供できるように随時検討していく必要がある。

●備蓄している食品・物品（敷地内）および献立の作成状況

備蓄食品は簡易な乾パンやクッキーだけではなく、ごはんやおかずが食べられるように準備している施設が多くみられた。一方で、利用者備蓄食がある施設において、災害時の1食目、2食目等でどのように備蓄食を提供するか、予め献立を作成している施設は学校6%、病院89%、高齢者福祉施設80%、こども園・保育園47%、社会福祉施設67%、事業所0%であった。予め献立を作成しておくことで、災害時に給食スタッフ以外でも迷わず準備でき、スムーズな食事の提供に繋がるため、備蓄食の準備と共に、提供する際の献立を準備しておくことが大切である。

●災害時の協定等の状況

調査結果では、外部業者と口頭で取り決めがあると回答した施設が複数みられた。口頭での取り決めは、あくまでも口頭であるため、認識にずれがないよう、改めて確認・検討する必要があるとする。また、外部と協定・契約を結んでいても、発災直後に自施設だけでどのように対応できるかは施設内で検討しておくことが大切である。

●まとめ

給食施設では、備蓄食の食品の選定や経費に悩みながら整備している施設が少なくない。また、そのような準備を検討する役割をもつ管理栄養士・栄養士が1人で悩んでいたり、管理栄養士・栄養士がそもそも施設におらず、何を準備したらいいかわからない施設もある。保健所は、今回の調査結果や、巡回指導で把握する各施設の状況をもとに、給食管理の支援を引き続き行い、今後も災害時に備えた給食の整備を進めていく。